

光ファイバケーブルを曲げることなく識別可能、
安全に撤去作業が行えます。

【光ファイバ識別器 CFT-810】

- 誤抜去の防止に最適
- ファイバコードを軽く叩くだけで、インジケータが反応
- 付属のイヤホンにより、音での判別も可能
- ダイナミックレンジ9dB(約20kmまで測定が可能)
- 対応ファイバタイプはシングルモードファイバ(1310nm)
- 可視光源機能・パワーメータ付き
- バッテリー操作12時間(連続操作時)

※識別条件:①端末がコネクタ処理(UPCまたはSPC研磨)、又はファイバカッタで切断されていること
②活線ではないこと

Audio Fiber Tracer CFT-810 by FIBERPRO

| | |
|-----------------|--|
| 波長 | 1310nm |
| 出力値 | -4dBm ~ -25dBm |
| ダイナミックレンジ | 9dB(端末までのロス) (約20km) |
| 電源 | 24V DC 2.5A |
| コネクタ | SC/APC |
| バッテリー | リチウムイオン電池 10.8V 4Ah (交換式リチャージャブル バッテリー) |
| バッテリー充電時間 | 3 時間 |
| 寸法(mm)/重量 | 200 x 150 x 90 /2.5kg |
| 表示ディスプレイ | LCD |
| 外部出力インタ フェース | 32Ω イヤホン |
| 操作環境 | -10~ 50 °C |
| 保管環境 | -10~ 60 °C (長期保管時) -40~ 60 °C (輸送時) |



Case 1：局内光ケーブルの撤去作業

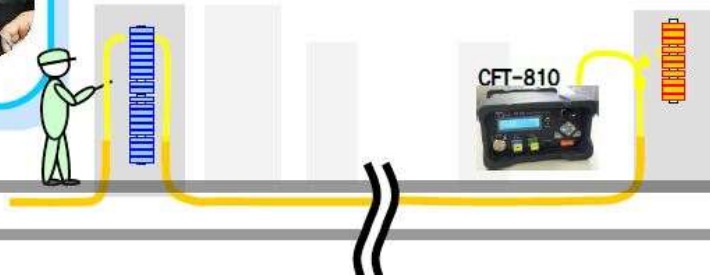
- 局内光ジャンパケーブルなどを **曲げることなく、軽くはじくだけ** で識別作業が行えます。
- ファイバを曲げる必要が無く、**光ファイバに掛かる負荷を最小限に抑える** ことができます。
- 局内ケーブルの種類／太さを問いません。
- **最大 20km の測定が可能**です。

撤去したい光ケーブル(回線)をペン等で軽く叩きます。振動が光の干渉現象を引き起こし、光ケーブルを伝わり、CFT-810本体まで伝送されます。



作業者の与えた振動は、光ケーブル内を伝わります。

感知した振動をインジケータと音で確認できます。輻射したケーブルでも、はじく部分から1m程度の長さも孤立させることで確認可能。



Case 2：所外系ケーブルの識別作業

- 屋外ケーブルも **曲げることなく、ペン等で叩く** 事で識別作業が行えます。
- 光ケーブルの外径／心線数は関係なく、**ほとんどのケーブルを識別可能**です。
- 心線を曲げる必要が無く、**光ファイバに掛かる負荷を最小限に抑える** ことができます。
- 心線を曲げない為、**他の現用回線に影響を与えません**。
- ケーブル撤去作業等、今までの識別工法に付加する事で**ケーブルの誤切断防止**につながります。

CFT-810



200心や400心などの地下ケーブルから、単心ドロップなどの細径ケーブルまで、ケーブルの径/種類を問わず使用頂けます。

架空ドロップケーブルもOK!



地下ケーブルもOK!

取扱元

 **原田産業株式会社 AIFチーム**

〒100-7026 東京都千代田区丸の内2丁目7番2号 JPタワー26階
TEL：(03) 3213-8391 FAX：(03) 3213-8399
Email：sales-info@haradacorp.co.jp
<https://infocom.haradacorp.co.jp/optical-fiber-tester/cft-810>